

明治の風刺マンガ～『团团珍聞』『驥尾団子』の世界～

主催

町田市立
自由民権資料館

1877(明治10)年創刊の雑誌『团团珍聞』と、その姉妹誌『驥尾団子』に掲載された風刺マンガは、当時の社会の内面を鋭く、たくみに切り取り、〈笑い〉に換えるユーモアにあふれていました。掲載された風刺マンガには、官吏＝ナマズ、民権＝セミ十犬・キジ・剣など、芸妓＝猫、大隈重信＝熊、板垣退助＝板十柿十鯛というように暗黙の了解や、政府や警察を煙に巻く仕掛けがふんだんに隠されていました。風刺マンガに隠された意味を絵解きしながら、当時の〈笑い〉やその裏にある、当時の政治・社会・世相のありようを探ってみます。

日時
2月14日(金)～3月1日(日)
毎週火・水・金曜日 10:00～18:00
毎週木・土・日曜日・祝休日 10:00～17:00
休館日:月曜日、第2木曜日
(祝日の場合は開館し、翌日休館)

会場 忠生図書館 多目的室(町田市忠生3-14-2)

費用 無料

問合せ 042-734-4508
(町田市立自由民権資料館)



孫悟空、蟬犬を遣う

明治の風刺マンガ絵とき教室
～当時のマンガから読みとく明治時代～

主催

町田市立
自由民権資料館

明治の風刺マンガには、ナマズ＝政府の役人、セミ十犬・キジ・剣など＝民権、ネコ＝芸子、クマ＝大隈重信、タコ＝黒田清隆、板十柿十鯛＝板垣退助というような約束、政府や警察の取りしまりにあわないようにするための工夫がたくさんにかくされていました。当時の人たちと同じように風刺マンガにかくされた意味を絵ときしながら読み取り、当時の笑いやそのうらにある、当時の政治や社会のようすをいっしょに探してみたいと思います。親子での参加もお待ちしています。

日時 2月23日(日)、29日(土)
14:00～15:00

会場 忠生図書館 多目的室
(町田市忠生3-14-2)

対象 小学校高学年以上～大人まで

定員 20名(当日先着順)

費用 無料

申込 不要。当日13:45から受付を開始(先着順)。

問合せ 042-734-4508
(町田市立自由民権資料館)



「幕内の相撲」